

会社概要 / 株主メモ

Corporate Profile / Shareholders' Memo

■会社概要

商号	： ころネット株式会社
発足	： 2006年4月 [当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月]
所在地	： 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
代表者	： 代表取締役会長 菅野 松一 代表取締役社長 齋藤 高紀
資本金	： 500,650千円
決算日	： 3月31日
従業員数	： グループ:570名 [外、臨時従業員24名] 単体:36名
事業内容	： グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、 不動産管理、総務・経理・人事等の管理

■役員 (2014年6月25日現在)

代表取締役会長	菅野 松一
代表取締役社長	齋藤 高紀
常務取締役	安齋 紀之
取締役	玉木 康夫
取締役	羽田 和徳
取締役	川島 利介
取締役	菅野 利徳
常勤監査役	齋藤 信男
監査役	武藤 正隆
監査役	大出 隆秀

■株主メモ

(2014年3月31日現在)

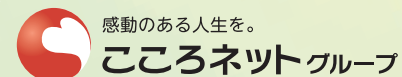
上場市場	： 東京証券取引所ジャスダック市場
上場日	： 2012年4月25日
証券コード	： 6060
事業年度	： 4月1日から3月31日まで
定時株主総会	： 6月中
株主確定基準日	： 3月31日
剰余金の配当の基準日	： 3月31日、9月30日
株式の売買単位	： 100株
公告掲載方法	： 電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合には、 日本経済新聞に掲載を行います。 電子公告掲載URL： http://cocolonet.jp/
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	： 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	： 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
各種事務手続き	： 詳しくは、三菱UFJ信託銀行のHPページ にてご確認ください。 http://www.tr.mufg.jp/daikou/



ころネット株式会社
〒960-0102 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
TEL 024-573-6556 FAX 024-573-6560 HP <http://cocolonet.jp/>



※ 環境に配慮して再生紙と植物由来のインクを使用しています。



株主の皆様へ

2014年3月期のご報告

証券コード 6060

ころネット株式会社



代表取締役社長
齋藤 高紀

経営基盤を強化し、 安定的・持続的な成長を目指します。

Q.1 当期の経営環境について ご認識をお聞かせください。

<景気は回復基調>

全般的な景況感は、政府の経済政策等により緩やかな回復基調をたどりつつあります。同様に、当社グループが事業展開しております福島県につきましても復興関連需要が継続し、経済の持ち直し等が見受けられました。

<競争は激化>

当社グループの事業環境におきましては、少子高齢化による競争の激化や、円安による仕入コストの増加等により、収益確保への努力が一層求められるようになってきております。

<経営基盤を強化>

2013年4月1日に旧郡山グランドホテルと経営統合し、福島県内の営業基盤を強化しました。また、統合に伴う内部体制の強化やグループ内の組織再編を行い、厳しい環境の中でも持続的、安定的に成長を目指す体制を整えてまいりました。

Q.2 そのような中、 当期の業績はいかがですか。

<売上高は過去最高額>

当期の売上高は、統合効果及び積極的な広告宣伝、イベント等のプロモーション活動を展開したことにより前年対比14.8%増で過去最高額の120億57百万円となりました。利益面では、仕入コストの上昇や、施設の建替に伴う費用の増加等により営業利益、経常利益が前年実績を下回りました。なお、当期純利益は、経営統合に伴う負ののれん発生益の計上等により前年比39.3%増の7億34百万円となりました。

<全セグメントで増収>

セグメント別売上高・営業利益につきましては、全セグメントで増収となりました。しかし仕入コストが増加した石材卸売事業、統合コストが増加した葬祭事業では減益となりました。

■業績概況

単位：百万円

	2013/3	2014/3	増減率
売上高	10,504	12,057	14.8%
経常利益	1,092	941	△13.8%
当期純利益	527	734	39.3%

Q.3 近況の具体的施策につきまして ご説明ください。

2014年3月期は主に、「組織強化」「新規事業の開始」「施設リニューアル」を実施しました。これらの施策により、シナジーを最大限に発揮し、業績向上を図るための体制が整いました。

<グループ内組織強化>

旧郡山グランドホテルとの経営統合に伴い、管理体制や規程、労務関連の整備を行い、グループとしての一体化を進めてまいりました。さらに、資源の集中と経営の効率化を目的としてグループ内の組織再編を行いました。

- ①葬祭事業の集約
葬祭事業を(株)たまのやに集約
- ②婚礼事業の集約
婚礼事業会社の(株)郡山グランドホテルと(株)サンストーンを合併
新しい会社名「(株)With Wedding」
- ③管理部門の集約
ころネット(株)と(株)川島を合併

<介護事業の稼働>

新たに開始した介護事業につきましては、サービス付高齢者向け住宅「ころろガーデン八島田」が2月にオープンし、3月より稼働いたしました。今後ますます進む高齢化に対応でき

るよう、成長を目指してまいります。

<施設のリニューアル>

婚礼事業では、婚礼会場2施設をリニューアル、さらに震災・原発事故の影響で休館していた「KIOKUNOMORI」(郡山市)を建替え、4月にオープンいたしました。また、石材小売事業でも石のカンノいわき支店をリニューアルしました。施設を新しくするだけでなく社員の質も向上させ、お客様により満足していただけるよう努めてまいります。

Q.4 最後に株主の皆様へのメッセージを お願いします。

<安定的・持続的な成長を目指す>

現在当社グループは、2013年6月に発表しました中期経営計画の最終目標達成に向けて全力で取り組んでおります。厳しい事業環境の中におきましても、経営統合を契機とした組織再編により、スケールアップした体制を整えました。さらにドミナントの深耕、営業エリアの拡大を進めるとともに、友好的M&Aにも積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、着実に前進する当社グループに、ご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、当期の1株あたり配当金につきましては、前期同様の15円の間割配当に加え、15円の期末配当を実施し、年間30円といたしました。



— グループ理念 —

私たちは、人々の「ころろ」に
満足と安らぎをもたらす
サービスを提供いたします。

2014年3月期は、「郡山グラ 「こころガーデン八島田オープン」

郡山グランドホテルとの経営統合

経営統合により、葬儀会館3/婚礼会場2/互助会会員数16,000人が加わりました。2013年4月1日より、福島県郡山市にて冠婚葬祭を営んできた郡山グランドホテルと経営統合し、同地区における業容を拡大いたしました。これによって売上高は前年比約14.8%増加いたしました。一方、利益面では統合・設備関連費用の増加により2014年3月期の計画を達成することはできませんでした。2014年3月期に実施した施策は将来の業績向上への布石でもあります。今後も重点施策に基づく活動を着実に実施してまいります。

“こころ”と“こころ”をつなぐ 新ネットワーク =郡山地区=



インドホテルとの経営統合」と が、活動の大きな柱となりました。

こころガーデン八島田オープン

2014年2月に当社グループの介護事業1号店となる「こころガーデン八島田」がオープンいたしました。この施設はサービス付高齢者向け住宅の他、デイサービス、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所を併設しております。この施設を軌道にのせ、ノウハウを蓄積し、介護事業を伸展させる所存です。



30戸を備えた全館バリアフリーの施設

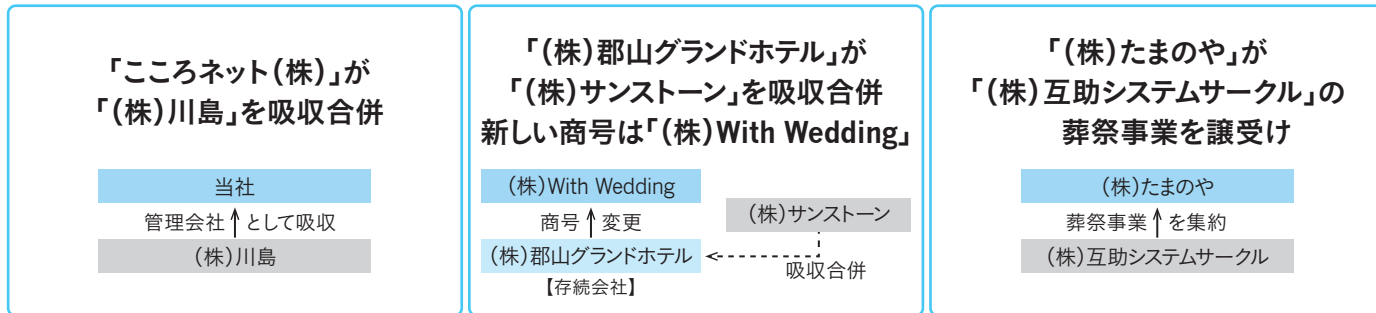
=中期経営計画= 重点施策の進捗状況

2016年3月期(3ヵ年計画の最終年度)に売上高150億円、営業利益13億円の達成に向け取り組んでおります。

- **ドミナントエリアの深耕**
 - ・石のカンいわき支店のリニューアル
 - ・婚礼会場「サンパレス福島」(福島市)のリニューアル、「KIOKUNOMORI」(郡山市)の建替え
- **営業エリアの拡大**
 - ・生花事業の山形営業所開設
- **新規事業・友好的M&Aの積極推進**
 - ・郡山グランドホテルとの経営統合
 - ・こころガーデン株式会社の設立及びサービス付高齢者向け住宅のオープン
- **魅力ある商品・サービスの開発**
 - ・婚礼会場で「Wedding PONTA」ポイントサービスの取り扱い
 - ・インドからの直輸入による高級黒御影石の販売
 - ・環境に優しいエコ棺「包優」の開発販売
- **コスト削減・経営効率化の推進**
 - ・グループ内の組織再編を実施
 - ・子会社は9社から7社へ

グループ再編により経営基盤を強化し、
既存市場の深耕と営業エリアの拡大、
新規事業の育成・開発を加速させていきます。

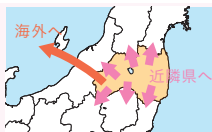
経営基盤の強化



経営資源の集中、組織の効率化等を目的にグループ再編を行いました。

注力施策

- 1** **ドミナントエリアの深耕**
 - 既存の店舗や式場のリニューアル・新設等により、シェアの拡大
 - グループシナジーを最大限に発揮
- 2** **営業エリアの拡大**
 - 福島県外への進出
 - 海外への進出を検討
- 3** **新規事業・友好的M&Aの積極推進**
 - 介護事業を軌道に乗せ、業績貢献度の向上
 - M&Aの積極推進



◎下期の主な活動

2013年

- 10月 ● SP VILLASサンパレス福島が改装工事を終え、グランドリニューアル
- 11月 ● ふくしま終活フェアin郡山へ参加
- 12月 ● サンパレス福島にて「大感謝祭・絆」を開催

2014年

- 1月 ● 迎賓館グランプラスにて「新春こころの集い」を開催
- 2月 ● こころガーデン八島田オープン
● グループ再編を決定
- 3月 ● 地元サッカーチーム「福島ユナイテッドFC」への協賛★
● パンダハウス※に寄附★
● 東日本大震災ふくしま子ども寄附金への第6回目の寄附★
● KIOKUNOMORIが完成し、竣工式を実施



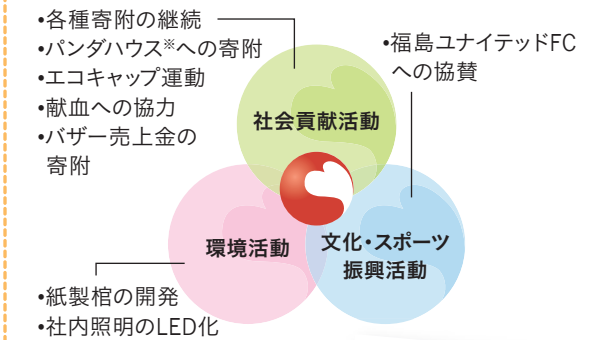
大村崑氏の講演会をメインに大感謝祭を実施



KIOKUNOMORIがリニューアルオープン

★ CSR活動

イベントや社業を通じて様々な活動を行いました。今後も社会の一員としてCSR活動を継続していきます。



パンダハウスに寄附



こころガーデン八島田が本格営業を開始

※パンダハウス：福島県立福島医科大学附属病院に入院中の子供さんが一時外泊される際、ご家族の方と水入らずで宿泊できる施設。

◎連結貸借対照表(要旨)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。

	前期末 2013年3月31日現在	当期末 2014年3月31日現在
流動資産	3,580	4,448
現金及び預金	2,281	2,680
受取手形及び売掛金	717	860
商品及び製品	327	435
その他	253	471
固定資産	12,628	18,408
有形固定資産	8,917	13,002
無形固定資産	147	138
投資その他の資産	3,564	5,266
資産合計	16,209	22,857

	前期末 2013年3月31日現在	当期末 2014年3月31日現在
流動負債	2,296	3,066
買掛金	369	467
短期借入金	480	810
1年内返済予定の長期借入金	484	854
その他	963	935
固定負債	7,423	12,197
長期借入金	2,003	3,440
前払式特定取引前受金	4,887	8,025
その他	532	731
負債合計	9,720	15,264
株主資本	6,452	7,489
資本金	500	500
資本剰余金	1,620	2,033
利益剰余金	4,331	4,955
その他の包括利益累計額	36	103
純資産合計	6,488	7,592
負債・純資産合計	16,209	22,857

◎連結損益計算書(要旨)

	前期 2012年4月1日～ 2013年3月31日	当期 2013年4月1日～ 2014年3月31日
売上高	10,504	12,057
売上原価	6,925	8,115
売上総利益	3,579	3,942
販売費及び一般管理費	2,651	3,114
営業利益	927	827
営業外収益	253	222
営業外費用	88	108
経常利益	1,092	941
特別利益	350	417
特別損失	552	245
税金等調整前当期純利益	890	1,112
法人税等合計	362	377
少数株主損益調整前当期純利益	527	734
当期純利益	527	734

◎連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

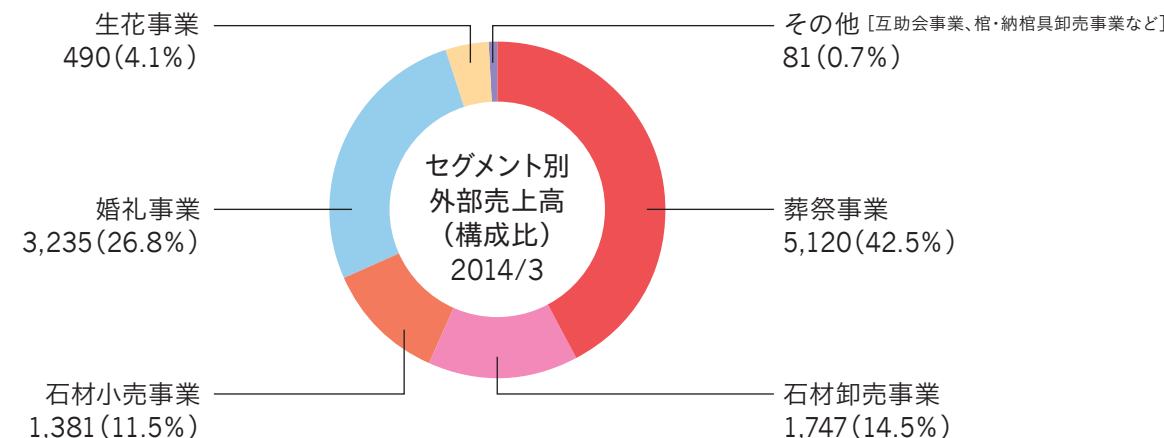
	前期 2012年4月1日～ 2013年3月31日	当期 2013年4月1日～ 2014年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,182	1,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	△333	△1,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	△845	73
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8	△527
現金及び現金同等物の期首残高	1,131	1,122
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	-	697
現金及び現金同等物の期末残高	1,122	1,292

- 配当政策

当社グループは、企業の発展を通じて株主の皆様のご支援にお応えするために、適切な配当を安定的に行い、将来の事業展開と企業体質の強化のために必要な内部留保を確保して行くことを利益配分の基本方針といたしております。
この方針に基づき、2014年3月期の配当につきましては、1株当たり30円(中間配当15円、期末配当15円)といたしました。なお、2015年3月期の1株当たり年間配当金は30円を予定しております。

◎セグメント別外部売上高(構成比)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。



- 業績・財務コメント

連結貸借対照表

- 流動資産：主に現金及び預金が約399百万円増加。
 - 固定資産：主に有形固定資産が約4,084百万円、投資その他の資産が約1,702百万円増加。
 - 流動負債：短期借入金が約330百万円増加。
 - 固定負債：長期借入金が約1,436百万円、前払式特定取引前受金が約3,138百万円増加。
- これらの増加の主な要因は、経営統合と婚礼会場建設によるものです。
- 純資産：資本剰余金が約412百万円、利益剰余金が約623百万円増加。

連結損益計算書

- 売上高：経営統合や営業体制強化等により、前期比約1,553百万円増加。
- 営業利益・経常利益：仕入コストの増加、及び統合に係る費用、婚礼施設建替に伴う費用の増加等により、営業利益は前期比約100百万円減少、経常利益は前期比約151百万円減少。
- 当期純利益：負ののれん発生益の計上等により前期比約207百万円増加。

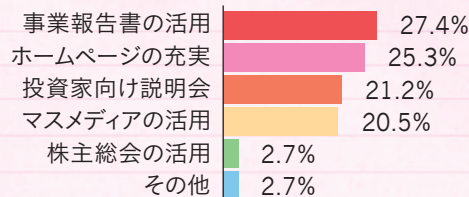
連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動の結果得られた資金は、1,040百万円となりましたが、主に固定資産取得等の投資活動に1,641百万円使用いたしました。一方、期中に郡山グランドホテルと経営統合したことで現預金等が697百万円増加いたしました。この結果、当期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ169百万円増加し、1,292百万円となりました。

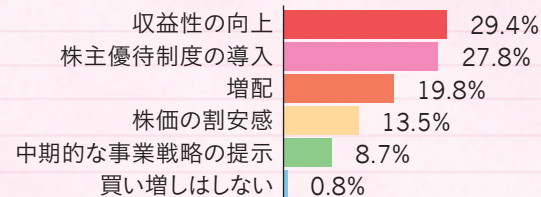
「2014年3月期 第2四半期のご報告」に際して、皆様にお願ひしましたアンケートに寄せられましたご意見・ご要望を以下のとおりご報告いたします。皆様よりいただきました貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の経営に反映させてまいります。

＜株主の皆様からのご回答＞

Q.今後のIR活動について、特に充実を期待されることは何でしょうか？



Q.当社株式の買い増しをご検討される際、最も重視されることは何でしょうか？



＜株主の皆様からのご意見・ご要望＞

知名度向上に努めて欲しい。

A. 2014年3月期は、知名度向上を図るため情報の積極開示、投資家様向けのイベント等への参加をしております。2015年3月期は個人投資家の皆様を対象とした説明会やイベントへの参加拡大、ホームページの充実等の施策を実施してまいります。特に個人投資家の皆様を対象とした説明会については、関西地区での開催も予定しており、これまで以上に知名度向上を図ってまいります。

株主還元を手厚くして欲しい。

A. 配当につきましては、現在30円(中間・期末それぞれ15円)を実施しておりますが、今後は業績に応じての配当を検討してまいります。また、株主優待につきましても、導入に向けて前向きに検討してまいります。

(2014年3月31日現在)

■株式の状況

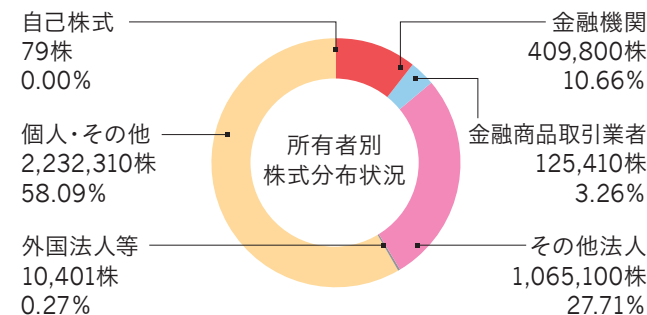
発行可能株式総数	5,100,000株
発行済株式総数	3,843,100株
株主数	987名

■大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
カンノ合同会社	970,000	25.24
齋藤 高紀	369,470	9.61
川島 利介	272,075	7.08
こころネットグループ従業員持株会	182,840	4.76
株式会社東邦銀行 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行(株))	175,000	4.55
株式会社福島銀行	135,000	3.51
株式会社SBI証券	98,600	2.57
菅野 松一	81,120	2.11
齋藤 フヨ	74,830	1.95
菅野 孝太郎	69,640	1.81

※カンノ合同会社は、当社代表取締役会長菅野松一氏並びにその親族の保有資産の管理を行う会社です。

■所有者別株式分布状況



■株価・出来高の推移

